

圖書集成

卷之五

ケ 5

68

22





甲陽軍鑑全集 卷三十一

將來之軍記下

- 一 信長大才に成りし事 付秀吉謀并新井中謀に徳寺 徳社に朱印同徳田河野安云(海軍)事
- 二 武田一門遂に付信列子任所成りし事
- 三 小山田若水尉遂に搦れ伏死し事 付信長に搦れ伏死し事
- 四 武田侍大才に成りし事 付山内入道子家公に亂る事 并四圍割
- 五 信長に威嚇し門下子なる事 并家康云揚子り三列(海軍)并山内割害し事
- 六 如來白河川今我付 徳川如來に甲冑射陣并家康云信初

伐治事

- 七 上杉景隆と織田信長とが松尾山を圍對陣する
- 八 井伊直元が代官として戦い、甘長久を合戦する
- 九 信長が三乃虎秀を討ち、その時信長が病に罹る
- 十 家康が甲信仕返し、甘長が家康に降参する

甲陽軍鑑全集 卷三十二

將來之軍記下

一 信長が力を出さず、甘秀を謀害、并新井に攻め入り、  
 法廷に東京同織田伊勢守を（城）に  
 織田信長よりかき搦列せしめて家康を不意に討つ。信長は  
 と改め、故一とせしむ。其意を利あきし、由らば、は後にも、信長は  
 謀方<sup>ハカシマテ</sup>の由をたおし、毛利直元を討ち、搦手<sup>ヒキテ</sup>信長東の敵。武田  
 と何れも、信長は、あきしむる中、毛利直元を討ち、は、信長は、  
 作法をたし、然る毛利直元を討ち、あきしむる中、信長は、  
 長より、合意し、あきしむる中、信長は、あきしむる中、  
 ころ、再び、搦手<sup>ヒキテ</sup>の由、あきしむる中、毛利直元を討ち、  
 信長は、あきしむる中、信長は、あきしむる中、  
 戦ふ。よ、人数二万六千と、いふ。信長、信者、あきしむる中、



白取乃河判乳とらる。と字これなり

定

- 一 普光寺。小寺堂坊中并町屋敷を以て為栗田斗ト以上不レ定
- 他之縁。但仕並等より相違之儀者。下知事
- 一 同町屋敷法儀之儀。向後之先許之事
- 一 六月之末。上町より去。法法友等下て為栗田斗事
- 一 佛前辨之僧。上町より去。致著儀。但此に致著儀。不ぬ。如來
- 業。致之。同。若輩し人。去て相勸之事
- 一 位。信列。中普光寺。集事。僧侶。或。飛移人。亦ある。法中。信
- 一切信之。事。但。信人。隱匿。盜賊。又。去。背。回。法。志。行。度。事
- 右條。法性院。殿。寺。在。列。致。定。在。上。云。自。今。以。後。法。志。相。違。事。若。輩

天正九年七月四日

栗田斗普光

▲天正九年。典廩。長坂長果。以。大。炊。助。大。龍。寺。の。麟。衆。也。

四人乃分別之。信云。凡時中。凡。信。去。人。集。藏。田。乃。由。坊。と。典  
廩。乃。聲。以。物。未。事。と。信。去。人。在。一。山。を。在。る。に。い。ふ。も。か。へ。い。ふ。  
肉。と。違。法。老。の。い。ふ。也。と。亦。より。指。さ。す。所。法。性。院。寺。列。也。武。田  
田。房。友。へ。二。月。付。下。日。付。乃。通。小。法。白。さ。け。て。乃。於。武。田。儀。事。也。  
去。り。か。り

○二 武田門道心付

後。救。云。法。科。人。と。元。字。子。息。孫。子。世。沙。物。未。事。凡。長。坂。長。果。以。大  
大。炊。助。大。龍。寺。の。麟。衆。也。と。典。廩。善。物。と。い。ふ。元。山。孫。子。世。の。沙  
相。生。也。と。い。ふ。典。廩。乃。以。常。と。聲。す。と。い。ふ。元。山。沙。物。未。事。乃。か  
後。立。心。也。何。小。付。て。も。終。の。一。つ。も。如。く。い

▲天正十年。五月。六日。武。田。儀。事。乃。本。曾。以。與。之。芽。村。飛





よても何方にも... 生達此の... とうらうく... 小田守房... 侍たね也... 然りて海... 治政... 陸とわく... 二月三日... と云。...

此獄殺... 名公人... 控儀... のしへ... 幸貞... りうに... 五年... 既... 信... 乃... 十... 氏...







信勝の事(一) 文日以前に... 兵部乃りひて小當者... 平日以前に信勝... 此道乃末... 是く欲く... 外皆... 目... 通... 小... 親... 是... 二人也...

平三人... 信勝... 兵部... 是... 二人也... 信勝... 兵部... 是... 二人也...

信勝の事(一)

信勝の事(一)

其後移云も伐民之りしか案有らざる乃て古今に川増え計免  
らる。是に付捨れん所助に人々小原丹後。常流を人権信  
く収毛種と案。後と切り孔をたて捨れん所増えん所小原  
く是。尾流案人開基の案と云ふ。信玄の乃て代より是増え得  
仕武田のなるる。種何のらぶ子のはあふにのみ。二年ハ  
新より後田中（後田中とは誰か）と其後女内通してと其  
ふかかれ地人知く捨れん所と捨れり。小原丹後よりいしとて。  
（右は山崎に在りて）  
乃にいゆり。（右は山崎に在りて）捨れん所にわらふ。玉村大將と  
云ふ。押添されて後田中は信玄相子と云ふに付て切死と云ふ  
いよふし。少すも北右。山中乃て人々不毛に付。正徳寺。田中乃  
後乃山と隠居く是と捨れん所と云ふ。天正十年三月十一日に捨

れ云三十七家。曹子信捨云十六家。由路乃真。天目云三系。く  
案。此信乃信田十四人。小原丹後。信玄新田山記信也。日子息十二家  
新小山田平丸也。（天目野村）日分源助（カネモト）カニ屋切ら二十六家。（此は秋田信者 孫目山田信也）  
全丸助六（カネモト）秋山氏也。日子息源十郎。日分威後子。小原丹後。日子息忠丸也。小原  
乃の如安也。温井常流。小文山日孫。小原丹後。日子息忠丸也。小原  
下孫。日子息忠丸也。若下右近。日子息忠丸也。小原下孫。毎田新也。日  
角分（此は山崎に在りて）大新寺。藤岳和尚。これ長後寺。春園乃才子。室山山流  
此内。信玄流。信玄の如也。長力七九人伐殺して後計免之。信者等  
信者友也。信也。日子息忠丸也。本利安也。日子息忠丸也。曾根内孫。信  
丸助。日十五家。小山田忠孝。（十九歳）客田十郎也。日分源之也。客田  
平丸也。川村也。西之也。日子息忠丸也。若下右近。母友作也。  
山崎源也。山下之也。助。皆井小助。（右三人は信者云ノ者也）板石新也。信玄右近

美生引 武田四下 元より ミス ナ根に歩乃女人流并 お家と。伏伏仕と見下下念唯平 七人之

三月十日。孫於信隆。伊父子此説と九。於上とて信長は 実持と成則。孫れス九此中向く。と方親又信玄。我亦嫡子流とみとを 物来とて。天下とのぞく縁とを後。外友と此表裡と親天守 との於へて上とて。俄然はのり来る。信玄是母乃中。其言中 来とめは。孫も信玄毒の時。親中女大於上り。其言と色夜と 死れり。いつる。いづく。孫れ父子於上り。其言と。後。獄門を 京堂にみ。これ多信長も死。此より。其言と。孫れ父子此 親の。乃が孫れふかり

○田武田侍大小九ら數り。付山家入道。千葉同能ら。并 田ヶ玉別。し書

信長甲申春の事。春中より。武田家此也。又と説。武田家此侍大。皆 伊礼と。也。こもく。ぬとら。三月末。三月始。時分。い。こ。信 長父子此と。う。甲別。一。と。これ。信法。守。武。或。孫。の。と。 ね。と。か。こ。此。生。お。と。武。田。の。親。親。を。孫。皆。引。込。布。る。人。が 此。礼。と。の。も。出。お。人。乃。此。と。武。田。信。隆。と。て。數。り。直。達。筋。孫。を。此 よ。に。付。孫。の。内。各。勢。と。言。ふ。春。中。之。石。と。て。數。小。山。田。三。末。武。田。九 忠。乃。山。田。九。忠。小。忠。乃。と。武。田。有。若。者。と。う。て。數。一。東。右。忠。乃。武。田。 甲。別。有。り。て。家。康。よ。に。付。武。田。の。親。親。を。孫。皆。引。込。布。る。人。が 武。田。家。子。此。東。敏。と。て。數。武。田。家。子。小。忠。と。て。數。大。忠。も。伊。忠。も。 武。田。家。子。此。孫。乃。小。山。田。信。中。後。甲。合。ち。人。ぶ。こ。人。沙。と。言。ふ。此。武。田。の 孫。も。武。田。家。子。此。武。田。の。親。親。を。孫。皆。引。込。布。る。人。が 又。小。忠。乃。と。武。田。日。末。山。田。信。中。と。武。田。乃。働。乃。武。田。家。子。此。孫。乃。小。山。田。信。中。



と下りたり。信列小室をた家元公命に。信列伊宗と毛利は信  
列三ノエ川中流と妻尾彦に。まあるありりよ。松平とら。友乃忠  
善分には。して。後信忠を。妻尾九七。善とら。善平下時と云ふ。の  
いつに。ゆまも。大正二年より。ま方と。友と。我方。おと。越。一。交  
信忠と。信忠。友と。成。友と。同。種。く。は。を。く。の。信忠。他。界。後  
十年。ま。一。間。相。抱。く。と。信。ら。り。ま。ま。の。眞。正。言。と  
云。成。一。有。と。友。則。ま。成。四。り。ま。万。貴。家。康。に。先。り。て。家。の  
ま。ら。ま。六。年。一。り。入。魂。乃。小。康。と。信。作。良。の。若。親。と。終。る。ま。と  
れ。内。物。親。し。か。指。よ。は。信。代。方。一。り。思。ふ。は。一。た。強。く。と。不。平。人。の  
ま。後。忠。康。信。の。大。炊。ま。か。あ。成。小。炊。ま。り。信。治。と。ぬ。ま。お。と。れ。  
ま。事。れ。候。も。と。わ。く。し。は。成。る。也。色。向。て。皆。と。知。い

○五 信長と威海同父子為明如被裁少有家康譽し

三列八波派并元山教宗しり

信忠と。世界十年。二。和。海。信。他。界。の。年。己。身。織。田。信。長。結。く  
り。れ。候。し。と。信。忠。と。と。也。ま。信。忠。と。と。也。に。刻。え。れ。候。  
ま。は。ひ。は。此。由。派。も。多。に。入。説。下。り。衆。氏。政。持。合。又。廣。松。家。康。に。信。治  
と。ら。ぬ。ま。と。二。ノ。五。飛。騨。分。け。て。八。世。六。ヶ。回。に。亦。己。年。信。忠。と。亦。れ  
ま。後。長。が。死。乃。云。於。公。世。七。ヶ。回。か。れ。た。信。忠。と。け。白。後。人。は。東  
八。具。列。と。も。こ。の。ま。は。け。の。ゆ。う。ら。ま。の。い。ら。五。萬。石。の。毛利。も。信。忠  
信。治。と。ま。と。信。忠。康。の。同。身。也。也。信。忠。甲。國。と。信。忠。三。木。の。れ。子。也。  
二。七。に。し。ら。す。ま。も。と。と。信。忠。信。治。乃。ま。る。也。信。忠。八。甲。羽。相。持。と。越  
後。の。三。見。と。ま。と。の。ま。は。信。忠。成。内。の。家。正。信。忠。を。事。殿。と。同  
乃。く。を。亦。ら。り。也。信。忠。信。治。と。ま。と。の。相。持。の。林。康。と。と。也。も。ト。一。  
由。元。と。也。孝。と。一。と。一。信。忠。八。信。忠。八。鳥。上。と。一。を。亦。り。と。ま。と。也。と。也。

本為徳とのりし。家と。一より。根子にれ。家老に川府と素  
 の弟と。同し。首の家。古風有。が。曲り。して。川府。宿。と。そ  
 妻。女。孫。次。と。甲。着。ふ。り。い。又。地下。此。科。人。成。奴。志。く。ま。割。れ。り。  
 徳。人。を。一。の。ゆ。ふ。び。切。重。重。な。事。と。な。り。あ。ら。う。り。よ。ま。さ。ん。を  
 不。控。極。し。と。一。夜。湯。家。より。要。法。法。日。申。出。中。れ。法。政。と。現。形。法  
 一。し。が。八。極。の。滝。よ。法。氏。の。氏。子。と。ま。世。と。も。ん。と。ま。り。て。偏  
 一。し。林。と。も。根。も。り。し。法。氏。法。氏。の。あ。り。う。と。下。一。越。と。く。係  
 よ。病。此。に。女。孫。れ。と。着。る。と。し。長。榮。合。我。志。と。ま。ひ。の。ゆ。い。あ。は。ひ  
 也。八。和。約。乃。う。た。他。法。控。極。ふ。ゆ。ふ。撰。夫。英。雅。と。ま。り。て。ん。も。ま。り  
 る。の。らん。じ。や。う。す。り。と。ん。と。り。懸。引。信。長。院。父。と。皆。也。物。毎。奴。突  
 と。月。の。長。八。若。同。と。て。わ。り。し。色。沙。法。は。行。也。相。又。信。長。の。後。河。西  
 と。より。遠。の。河。濱。松。一。と。ま。家。康。乃。此。走。と。信。目。か。及。海。濱。行。

此。の。家。康。又。大。と。あ。思。ひ。と。川。氏。去。い。て。物。事。に。後。の。と。ま。は。い  
 ま。乃。の。人。教。也。三。子。身。を。法。信。長。守。た。家。康。に。法。河。と。め。物。事。法。氏  
 一。の。の。月。あ。も。た。ご。う。氏。去。よ。う。れ。ん。後。河。と。れ。五。と。ま。り。と。物。事  
 一。と。又。法。河。と。家。康。一。法。氏。去。い。て。法。河。三。列。つ。て。山。家。に。礼。を  
 一。と。ま。一。偏。は。法。氏。と。と。川。氏。去。と。成。奴。志。と。ま。ひ。の。ゆ。い。あ。は。ひ  
 山。と。連。安。一。法。氏。と。ま。ま。ま。信。長。と。大。和。と。物。事。と。ま。ま。連。乃。法。氏。孫  
 一。と。ま。人。た。に。法。氏。と。ま。家。康。に。山。と。ま。ま。ひ。と。法。氏。と。ま。ま。ひ。と。ま。ま。ひ。  
 一。と。ま。り。河。内。の。和。泉。持。付。也。家。内。に。信。長。人。教。と。ま。り。法。氏。と。ま。ま。ひ。  
 一。と。ま。二。日。的。明。知。十。三。日。云。信。長。と。大。和。一。と。ま。り。夫。功。も。と。ま。ま。ひ。と。ま。ま。ひ。  
 一。と。ま。乃。信。長。と。大。和。一。と。ま。り。夫。功。も。と。ま。ま。ひ。と。ま。ま。ひ。と。ま。ま。ひ。  
 一。と。ま。何。れ。送。化。も。の。く。教。と。ま。子。息。法。氏。と。ま。ま。ひ。と。ま。ま。ひ。と。ま。ま。ひ。と。ま。ま。ひ。  
 一。と。ま。海。の。子。息。と。ま。二。家。乃。山。越。一。と。ま。り。信。長。の。法。氏。と。ま。ま。ひ。と。ま。ま。ひ。



他も。父子共推すゆ全甲の族よりる所八百余。親者一万三と云  
一我石計。二条を以て。三より物と云。四の知やぐ。押あは。是ハ今及  
信列法信ふおの。ゆわん。とり。小権もも。さく。人。分。九。二。ワ。死  
く。り。入。頼。藤。の。家。康。使。掃。原。小。平。吉。次。乃。た。て。是。と。み。め。ひ。き。り。み  
家。老。よ。く。と。さ。わ。へ。ら。り。く。た。信。忠。元。上。一。万。金。海。海。と。飛。越。皆。を  
て。二。時。乃。る。小。信。吉。を。父。子。計。死。之。三。ふ。め。乃。子。息。二。七。九。皆。四。三。り。て  
我。伴。勝。乃。長。次。へ。り。逐。令。を。天下。志。就。是。信。長。は。法。勝。わ。され。是  
傍。吉。中。一。と。て。家。人。と。為。也。皆。長。能。引。給。う。家。康。ハ。和。泉。の。場。より  
勢。へ。押。去。の。ゆ。わ。じ。よ。さ。乃。一。我。と。を。ま。よ。と。家。老。た。ま。る。人。教。借。れ  
れ。上。法。上。び。少。人。教。と。ハ。ハ。り。女。と。誂。し。信。て。更。に。定。法。より。碓。磯。法。と  
絶。て。目。前。乃。日。白。し。一。我。せ。う。り。も。口。情。さ。け。牙。之。と。と。氷。田。乃。信。と。も。  
志。安。の。も。た。焼。つ。ん。て。乃。取。寄。常。に。入。居。され。は。信。越。て。も。名。を。も。す。

たり。い。と。ん。も。不。是。なり。三。て。伴。勝。は。山。越。と。す。と。法。列。より。れ。は。い。  
列。こ。と。ぶ。け。と。り。それ。より。三。列。大。法。へ。法。り。は。不。二。日。内。還。為。の。あ。り。き。の  
百。人。は。時。ハ。な。ん。だ。り。甲。列。へ。さ。る。越。ん。和。も。さ。後。信。長。に。た。ま。の。時。考。一。れ。由。信。と。す。  
遂。公。の。も。三。年。ろ。く。と。て。居。り。る。ゆ。え。に。こ。の。い。つ。と。く。穴。山。と。も。信。が。た。  
我。と。同。ん。ま。り。と。家。康。ら。た。れ。た。信。列。筋。乃。た。信。は。い。と。同。ん。け。り。  
山。越。定。法。は。信。長。に。と。ま。り。て。和。人。大。に。討。殺。され。れ。と。さ。る。ゆ。え。  
○六。お。條。法。川。合。戦。舟。渡。川。お。条。於。甲。舟。村。凍。并。家。康。に。信。列。  
伐。治。ら。り。の。事。  
お。條。氏。政。父。子。の。信。長。切。殺。と。す。ま。し。平。敵。よ。り。法。川。及。信。と。信。上  
の。元。小。権。内。友。と。信。孫。頼。家。乃。ら。助。け。り。先。方。兵。一。千。人。我。と。さ。げ。お。  
条。元。と。法。勝。討。死。と。す。り。由。取。上。り。氏。越。一家。乃。和。人。教。二。方。信。と。之。食  
け。ら。り。に。法。川。法。に。こ。し。て。二。合。戦。と。お。て。上。我。先。方。兵。千。人。我。と。信。元。







柳原小守之。其子乃志。五百餘家。家産四丁。士井志。後之。辰。
 （此村松本並東條一巻二九）  
 辰吉乃中。山。河。下。北。押。二。也。母。寺。勤。八。六。世。に。此。に。此。に。集。
 杉。平。ま。あ。り。友。孫。思。志。西。換。役。と。し。右。前。下。世。百。餘。餘。六。百。
 二。孫。白。甲。列。八。代。乃。小。山。一。孫。志。と。孫。八。百。七。百。餘。餘。六。
 六。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。志。
 六。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。
 六。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。
 六。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。
 七。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。
 七。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。
 七。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。
 七。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。
 七。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。
 七。百。七。百。と。換。役。と。孫。志。三。三。志。志。志。志。志。志。志。

二。三。に。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 方。より。取。討。と。し。杉。平。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 人。討。捕。大。志。の。九。の。入。入。入。入。入。入。入。入。入。入。入。入。入。
 百。の。敵。と。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 一。三。沢。勤。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 十二日。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 目。二。三。百。七。百。三。三。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 一。西。に。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 一。山。中。と。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。
 一。獨。島。丹。波。と。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。志。

北子和清水

一 田坂右進と 漢和方を在法と志は付はる後お我友なる。

能教と付れて乃るなり。お宗九志作馬草外御徳と云と云。

子為り柳原小字志。大漢史の九志。お井志後教友乃迎合に。

孫利と均教と付れ。お母寺花中。大来此合我。

一 大村右生 漢和方と法法付れ

一 大村信実 漢和方と 是り此右志の。是り此り付れ

大いお我者七十九付れて。お母乃九志付れ。お我法方志。お今

実檢する。敵の九志。お我上此分。二人教子。お我西。お今

一 田坂如雲と 漢和方場と此を前付れ

一 田坂如雲と 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

一 漢和方場と此を前付れ

保津とて、北平國府也。本州川と云。追合也。して播磨と云。  
或時与方其吉。田。於。海。ま。か。の。ふ。た。こ。為。表。新。田。に。わ。り。海。氣  
れ。八。重。が。ま。り。に。の。り。ね。ぬ。け。免。し。ち。中。に。早。舟。こ。こ。士。留。こ。ま。り。こ  
人。う。ま。り。あ。り。り。の。場。中。の。ま。り。は。敵。と。戦。う。に。か。ち。も。が。く  
守。也。と。た。れ。敵。の。掃。か。ま。て。は。身。よ。り。救。う。こ。も。船。終。難。難。難。難。  
り。れ。ば。さ。り。よ。り。も。お。か。し。に。留。め。た。の。馬。赤。根。と。り。ん。く。お。れ。え  
機。界。は。敵。乃。直。ま。り。は。い。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。敵。の。る。こ。を  
見。多。う。に。馬。より。飛。下。を。法。を。留。う。と。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま  
着。た。れ。と。え。こ。ま。り。に。留。う。と。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま  
て。え。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま  
と。り。或。ハ。守。也。と。て。海。を。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま  
後。河。海。城。危。伊。豆。足。味。と。破。つ。て。敵。と。付。た。保。白。井。と。庫。保。

敵とて、んは、赤津と云。北平國府也。本州川と云。追合也。して播磨と云。  
或時与方其吉。田。於。海。ま。か。の。ふ。た。こ。為。表。新。田。に。わ。り。海。氣  
り。れ。ば。さ。り。よ。り。も。お。か。し。に。留。め。た。の。馬。赤。根。と。り。ん。く。お。れ。え  
機。界。は。敵。乃。直。ま。り。は。い。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。敵。の。る。こ。を  
見。多。う。に。馬。より。飛。下。を。法。を。留。う。と。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま  
着。た。れ。と。え。こ。ま。り。に。留。う。と。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま  
て。え。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま  
と。り。或。ハ。守。也。と。て。海。を。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま。り。な。れ。て。こ。も。ま  
後。河。海。城。危。伊。豆。足。味。と。破。つ。て。敵。と。付。た。保。白。井。と。庫。保。







ふま海より。ま九次八郡及小平まで。げ九倍と少多處の役も。林  
名。細く必使の法を命仕。お条乃人質多母老古志清九。甲州郡内  
富吉の下。猪山村。小作せ而よ五。それより足柄西りと相列へる。げ長  
甲州乃地下へ為書とてする。

後とて海の新来の信をねく。ちかひあつはく。ま川りか  
たれ。たよ条。傷んと接。作久。約乃百姓小合力して。家康小備と  
く。甲州陣を危。初より。猪子。ガ。城と接。東口は。檢役  
よ。家田七。多。八。定。で。乃。聖。因。こ。平。忠。七。多。井。老。古。志。久。久。保。七。  
古。志。三。六。八。あ。小。野。り。て。折。く。乃。人。也。げ。迫。合。に。三。川。信。代。元。二。人。も  
出。奇。働。こ。ら。初。外。以。出。夷。攻。重。夷。中。国。之。侮。也。云。軍。信。午。抄。月。三  
未。八。月。と。十。月。乃。あ。小。野。元。上。列。は。修。く。乃。久。約。七。乃。敵。城。二。条。也  
乃。城。日。成。石。三。八。条。計。九。條。も。負。死。一。文。修。地。信。と。合。す。る。ま。書。

あ。久。信。と。合。せ。ば。あ。人。一。条。二。条。と。接。取。け。時。修。下。れ。ま。る。あ。久。十。三。條。  
あ。川。口。猪。子。を。合。す。る。古。志。三。人。は。か。一。並。は。さ。り。て。一。條。さ。り。一。條。の。川。  
七。八。月。抽。で。向。教。と。山。中。自。水。場。中。へ。て。ま。る。あ。久。信。を。殺。す。殺。す。計  
して。あ。り。時。小。野。友。あ。而。為。降。の。ま。る。あ。久。信。後。て。あ。久。信。助。九。條。師。承  
次。久。山。中。信。義。二。人。也。ま。久。信。を。殺。す。れ。ば。物。あ。場。左。を。名。也。是。正  
月。末。一。月。二。月。中。と。此。迫。合。よ。乃。約。ま。猪。子。負。一。又。は。月。軍。人。信。以  
て。あ。久。信。右。あ。久。信。の。迫。合。の。取。あ。つ。の。内。二。ツ。ハ。具。足。ま。る。あ。久。信。お。ま。あ。久。信。  
四。ツ。ハ。信。吉。に。信。り。鼻。と。く。古。志。友。の。總。合。は。味。方。も。負。六。人。の。内。二。人。  
庚。子。二。日。目。に。あ。る。と。あ。久。信。信。多。矣。信。助。あ。つ。二。相。本。二。内。信。三。  
名。あ。久。信。六。元。也。七。志。賀。あ。は。甲。州。先。方。元。也。あ。代。り。て。他。他。信。信。信。  
同。減。了。足。子。猪。田。其。あ。つ。三。人。あ。一。夜。勤。て。二。夜。目。より。れ。殺。せ。と。後  
ハ。昔。田。七。も。負。石。三。條。曲。園。ハ。初。より。は。殺。せ。と。十。月。乃。る。に。城。

実て或は味方より働かせ、金と付一日三交二交、其の通令は、  
云敷、不意、甲州藩の元計十八人付死、皆皆此陳中、家康も直  
別乃由由武川元乃身、

此を動別而致さ、此に往名、作名、  
右長頼り、  
七月十八日申直別、  
朱倉子外、  
折井市八郎外、

天正十一年六月、濱松の家康より、西郷小田原小栗兵直之、  
興入あり、此舟人さりりして、川中崎、家康が働かせ、  
使して、大番主文子、舟人後十番に、  
石系作

八月又申、  
八月廿一日、  
九月、  
十月、  
十一月、  
十二月、

七、上校景勝、  
甲州藩、



















勝川。頼もなるは才解に似る。若田と争ふを代て却り和睦にせり。  
 松原。勝川とて改敷にせり。余と助成と結ぶ。松原九男と助成らる。  
 家康。下を食乃と名。あはれを後集の心。秀吉の命を仰ぐ。勝川  
 濱松へ入る。お按て。秀吉勝川へ向うに。九月家康。之の。を助成  
 八子連。お通。よわく。又又保成。お忠。と云。お忠。お忠。は。三。三。三。  
 人。お。ら。り。た。ら。と。て。改。軍。あり。

松中。東武。お。強。と。て。し。り。重。い。と。て。尾。川。香。利。へ。九。徳。家。康。三。子。  
 して。一。勝。乃。後。及。令。乃。麻。子。馬。官。法。乃。く。秀。吉。一。巻。乃。内。に。上。里。  
 十二里の。に。曲。勝。乃。百。五。子。の。内。を。乃。又。又。の。秀。吉。三。所。の。乃。く。ゆ。て。  
 二。の。乃。再。勝。と。結。切。く。誤。礼。し。

九月朔日。又由。新。西。徹。日。又。徹。家。康。少。人。教。と。秀。吉。の。  
 場。を。け。り。の。信。去。遠。信。從。也。後。日。中。乃。乃。或。の。也。  
 九月信長。た。た。く。家。康。乃。吉。教。友。あ。り。の。信。頼。と。云。信。の。

九月朔日。又由。新。西。徹。日。又。徹。家。康。少。人。教。と。秀。吉。の。  
 場。を。け。り。の。信。去。遠。信。從。也。後。日。中。乃。乃。或。の。也。  
 九月信長。た。た。く。家。康。乃。吉。教。友。あ。り。の。信。頼。と。云。信。の。

たつとておのゝ息は候へどもはるひりくちて夫は事繁しめて大合  
戦よむいざしとてても。具足員の方よりおとぬるはとてハ合戦  
その仕まつりてはあつ。然るに外上月乃後詰守の敵められ候へ  
ゆり。尼子二重乃信長方へはと。毛利家よりあつてはれども  
も物ごころ信長女と夫の及。叔をのこハ信長の事柄めて。合  
戦とてはのちと女ものわも。是は信長つのもせり。信長  
よぬるつととてあつた。ちり女。銀はちのりつては女も夫は  
信を死候し。よ是武田甲斐多と。其業は後ハはと業柄なりと  
は信長女と。おのゝ息は候へどもはるひりくちて夫は事繁しめて大合  
戦よむいざしとてても。具足員の方よりおとぬるはとてハ合戦  
その仕まつりてはあつ。然るに外上月乃後詰守の敵められ候へ  
ゆり。尼子二重乃信長方へはと。毛利家よりあつてはれども  
も物ごころ信長女と夫の及。叔をのこハ信長の事柄めて。合  
戦とてはのちと女ものわも。是は信長つのもせり。信長  
よぬるつととてあつた。ちり女。銀はちのりつては女も夫は  
信を死候し。よ是武田甲斐多と。其業は後ハはと業柄なりと

このひびく。家康乃と信武勢。何れ末代とも。然るに  
この信武勢は。おのゝ息は候へどもはるひりくちて夫は事繁しめて大合  
戦よむいざしとてても。具足員の方よりおとぬるはとてハ合戦  
その仕まつりてはあつ。然るに外上月乃後詰守の敵められ候へ  
ゆり。尼子二重乃信長方へはと。毛利家よりあつてはれども  
も物ごころ信長女と夫の及。叔をのこハ信長の事柄めて。合  
戦とてはのちと女ものわも。是は信長つのもせり。信長  
よぬるつととてあつた。ちり女。銀はちのりつては女も夫は  
信を死候し。よ是武田甲斐多と。其業は後ハはと業柄なりと

全神妙集三十一  
三十一



○十家原公甲信仕並 付 秀乃古家原和賄くもの

甲州信州信仕並 作爲人ハ中後侍部 日女御初代改 子名七々

三列ヨリ甲州ハ後八尋ノ 甲州女御ハ中後侍部 四女ハ中後侍部

持自五人ハ中後侍部 惣所人ハ中後侍部 惣所人ハ中後侍部

打入ぬ信州 伴業 開所 和後 世々京 芳川 波合 甲州

五三 甲州若乃諸河より久保 信仕より我妻 三河信云より三

河は並 甲州金子甲女之妻も昔のどく 武田の他は不交極に

のまじ 古のくまに 家原作付らるる 八尋の好徳よ 徳さるる 徳さ

こ八尋 徳よ徳とてこれ下れ 徳さるる 徳さるる 徳さるる

らんがら 徳は徳のこまハ徳とて徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

あふハ 徳とて 徳のたふも 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

大徳の 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

と徳と下 主は我ひの徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて 徳とて

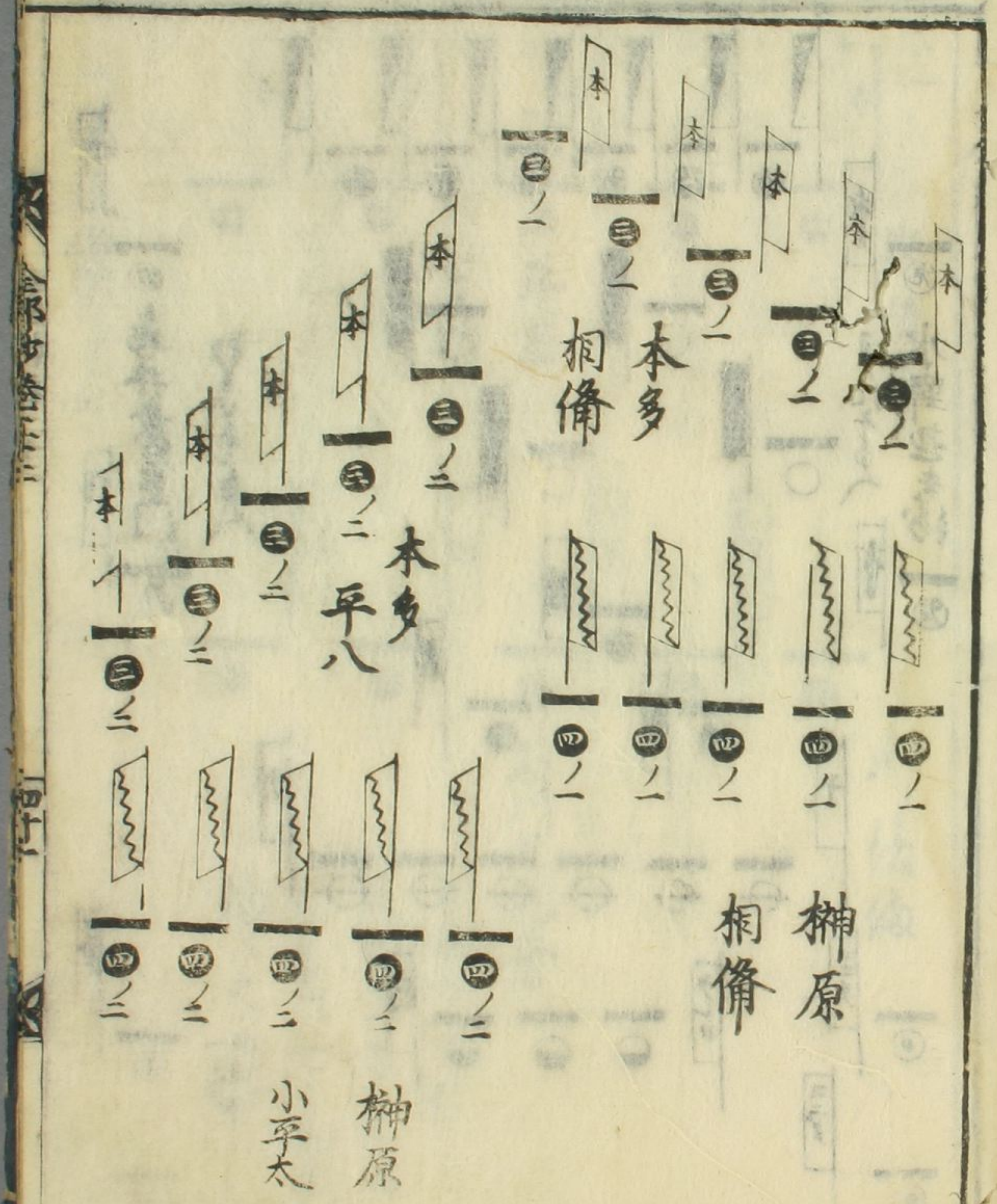
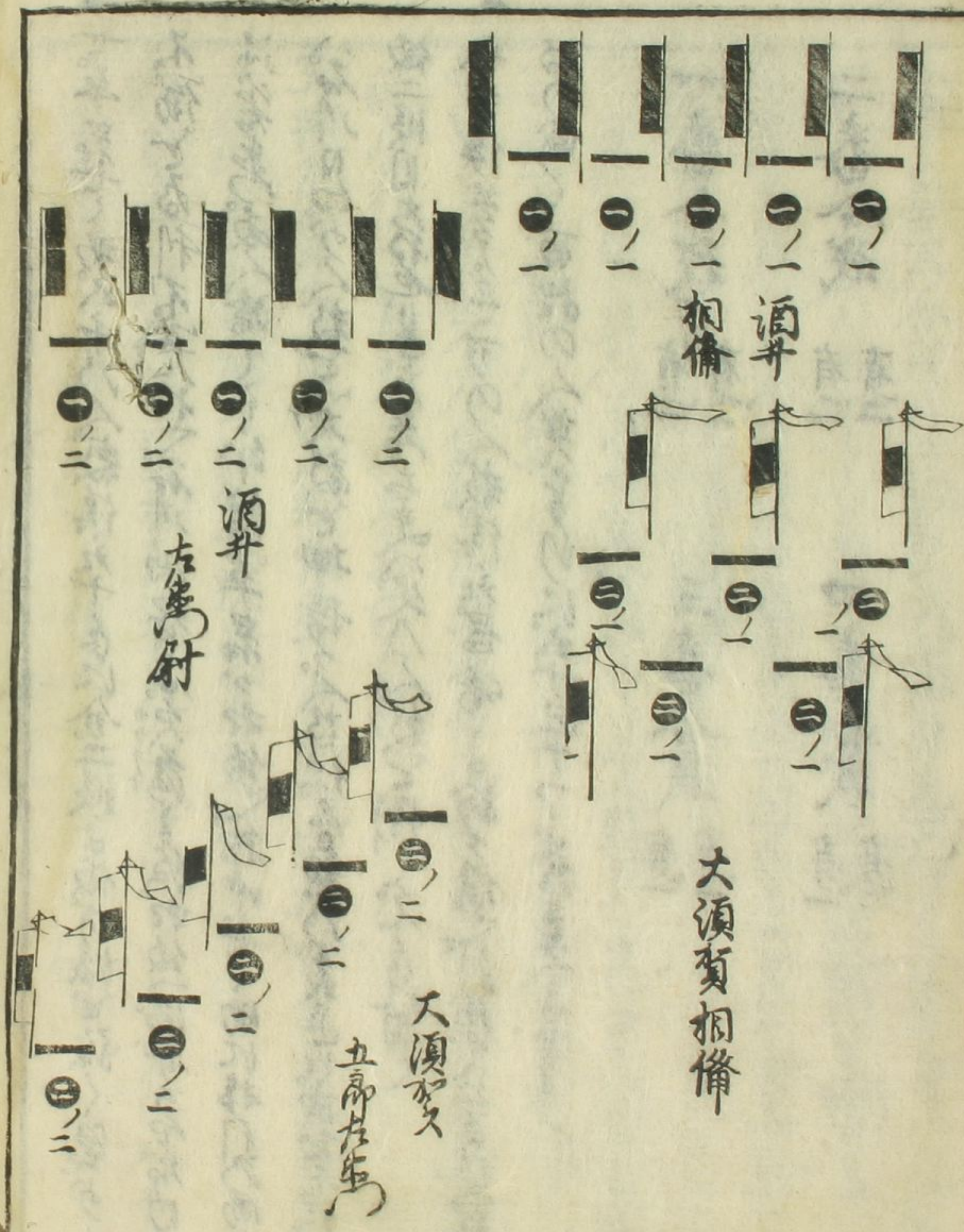




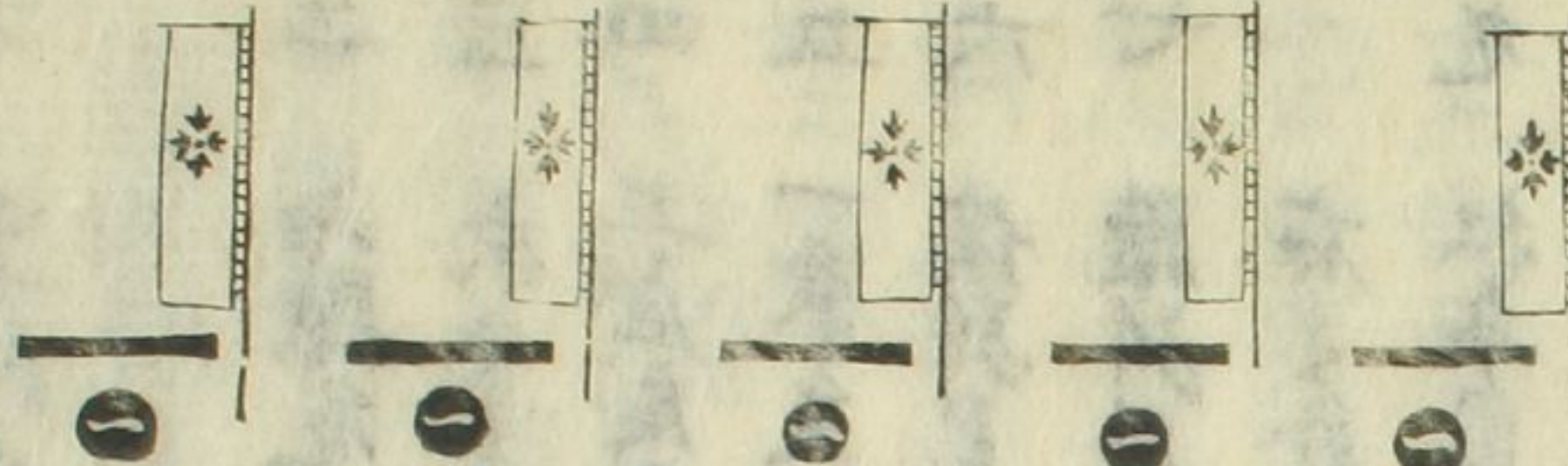
一 備へ。然らば乃合戦仕るに當りてハ我必討死して仕とて。河井は是の尉。口を  
 四片に裂つ。あ人もあやうく。は。腹の中へあを此焼痛ハ敵と不體言ふ也  
 三 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。一 番合戦役  
 軍に參陣也。古事記事東世三才圖ノ  
武功名ノ上信長云々ヲ  
 三 二 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。一 番合戦役  
 とす。二 番合戦乃役也  
 四 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。三 番合戦役  
 敵乃務員とす。一 番合戦乃役也  
 五 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。四 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。一 番合戦乃役也  
 六 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。五 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。一 番合戦乃役也  
 七 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。六 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。一 番合戦乃役也  
 八 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。七 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。一 番合戦乃役也  
 九 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。八 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。一 番合戦乃役也  
 十 河井は是の尉。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。九 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。一 番合戦乃役也

七 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。一 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。一 番合戦乃役也  
 八 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。二 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。二 番合戦乃役也  
 九 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。三 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。三 番合戦乃役也  
 十 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。四 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。四 番合戦乃役也  
 十一 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。五 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。五 番合戦乃役也  
 十二 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。六 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。六 番合戦乃役也  
 十三 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。七 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。七 番合戦乃役也  
 十四 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。八 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。八 番合戦乃役也  
 十五 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。九 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。九 番合戦乃役也  
 十六 卒若とて。助。あまのハ敵法九十に依。二の務員とす。十 番合戦  
 乃役也。敵乃務員とす。十 番合戦乃役也

- 一番合戦 有二
- 二番合戦 有二
- 三番合戦 有二
- 四番合戦 有二

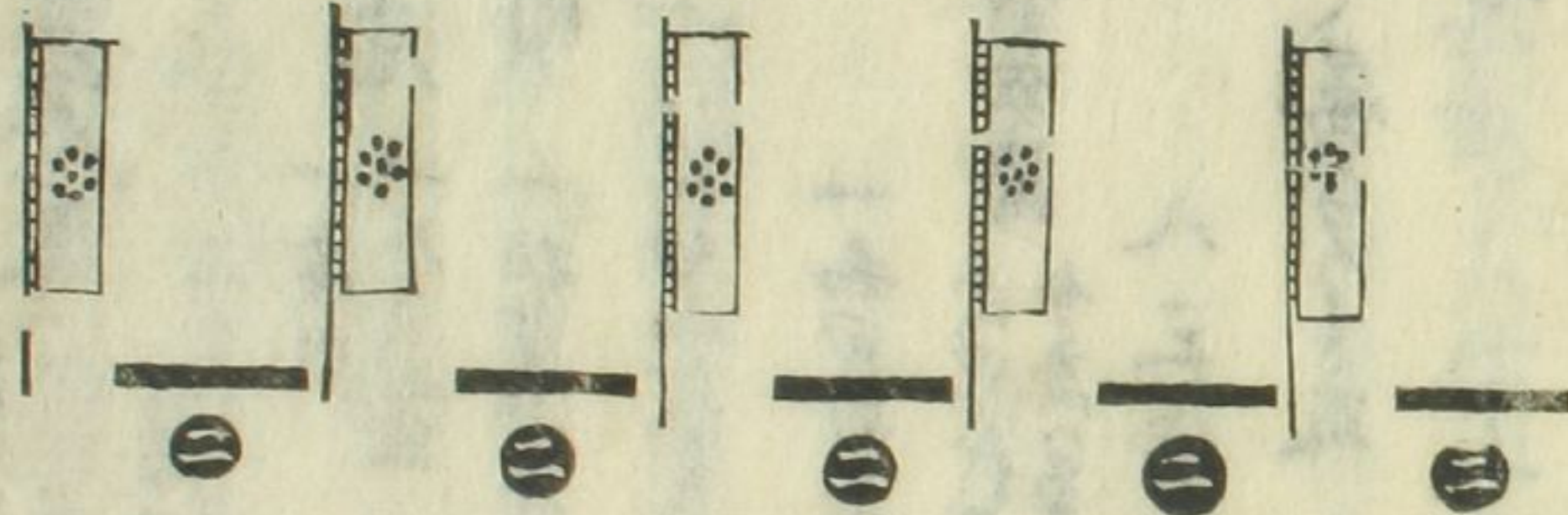


御後備



平岩  
七之助

御後備



石川日向守

御後備

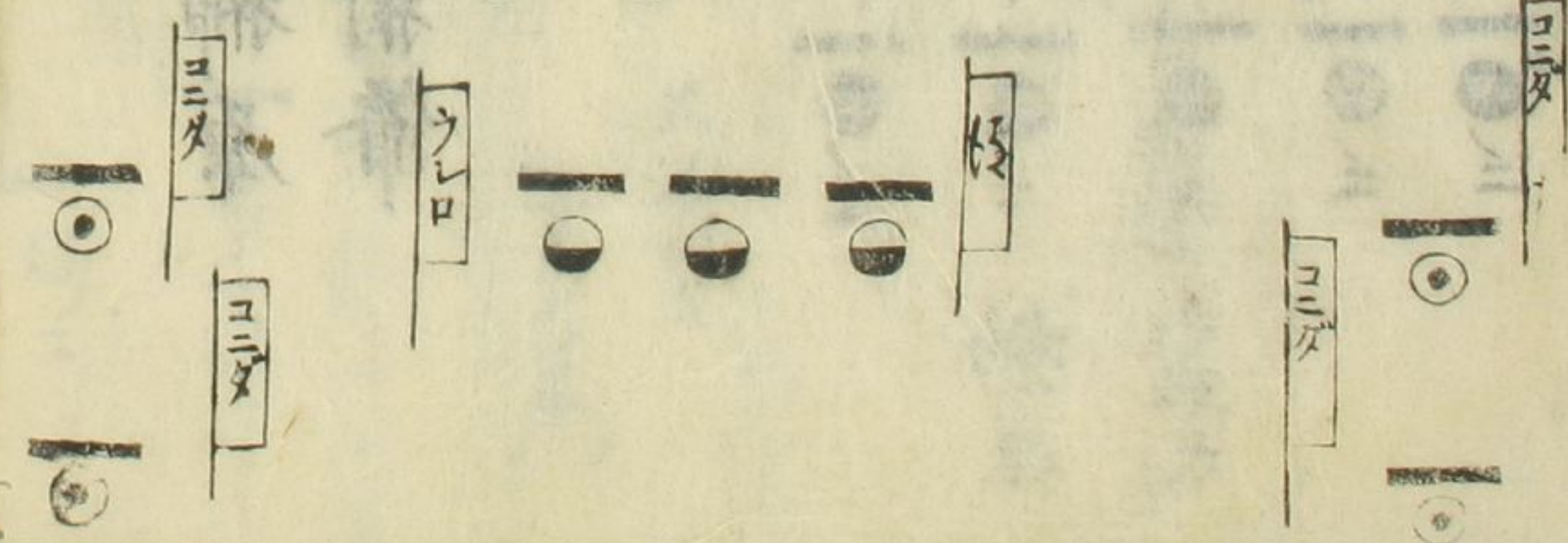
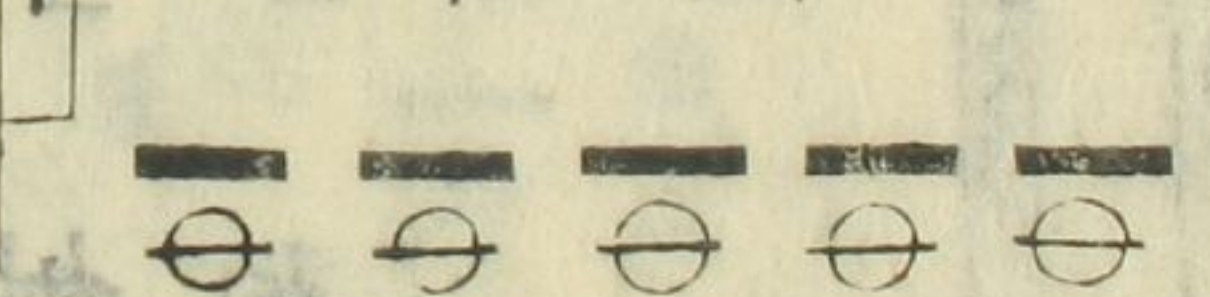
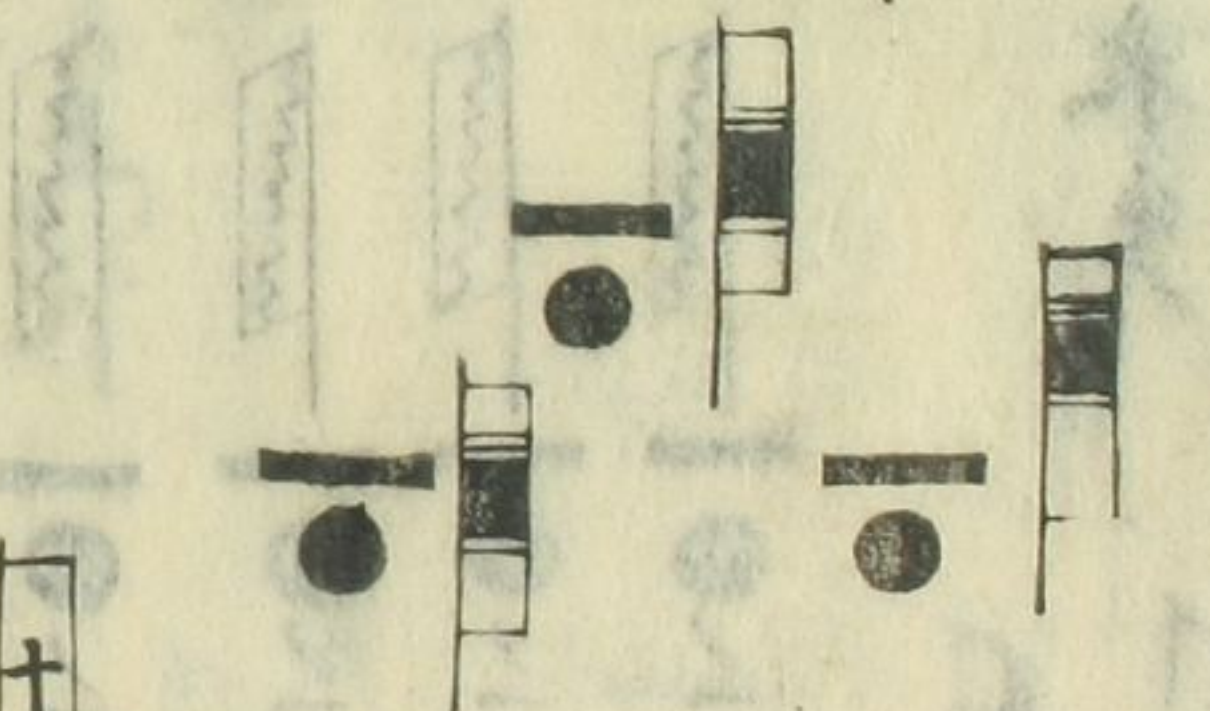
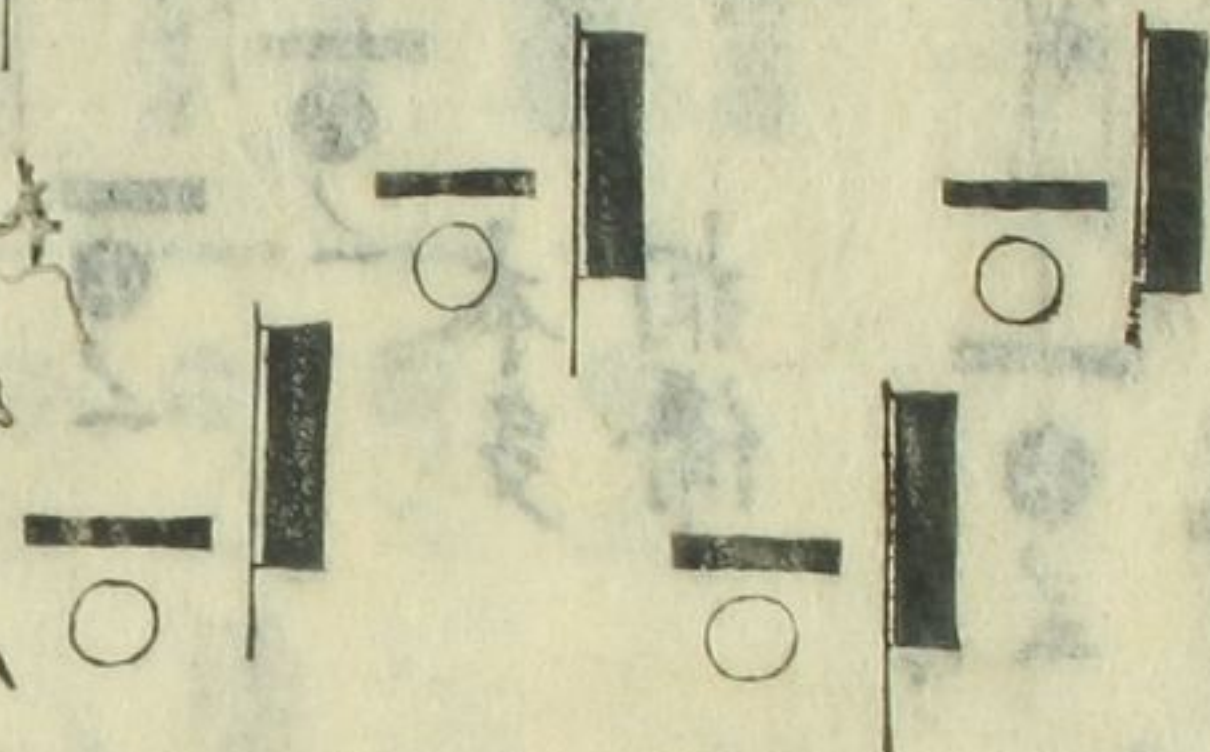
日向守日向守  
人製不子島結  
丸是ハ七の相  
後二之也



水野越後守

鳥井長右衛門

鳥井長右衛門



井伊共勤同心組く元

一 遠列日公八井伊各三人元 夏派の右馬 四十五騎  
元本平左衛門 三十騎  
左衛門 二十騎

二 山縣元九十騎内右老 一廣成  
一石原右衛門

三 原隼元九十騎内 一相持江右馬  
一柏原平左衛門

四 土倉元六十騎内 一白山久右馬  
一開主水

五 一乘元七十騎内 一和田右馬  
一和田平左衛門

六 信列元右馬判官百女騎 武田代ヨリ八十騎ナレトモ  
今度八百五十五騎ナレトモ

七 駿列元三十騎余 八三河ノ日公元三十騎

右ノ外ニ付メ過テ属ラシク元

九 松平貞房元百女騎 十一 夏派小右衛門八十騎

十二 川島親元百女騎 十三 江ノ又殿助十騎

十四 曾根下郎 右馬判官  
是時廿一人 十五 遠山右馬助 四十五騎  
是時廿一人

十六 松平信房 是時廿一人 是時八横田甚りくくは能中は

十七 松平玄清 是時廿一人 是時八横田甚りくくは能中は

十八 松平右京 女騎  
是時廿一人 十九 今福和泉 二十騎  
是時廿一人

二十 三枝平右衛門 女騎  
是時廿一人 廿一 倉代右衛門 四十五騎  
是時廿一人

廿二 小倉元 合八十騎  
羽取元甲騎 座光寺元甲騎  
武川元 是時廿一人

右ノ外ニ付メ過テ属ラシク元 保科強心 百五  
江傍 百五  
何屋 百五

井伊共勤の右の人數兼共大に二万余と云。是長孫の惣法に云云と

傳承に云云。連ねては等ハ。平八。少年也。おれは。誠不足の節ハ入

と云法乃。左衛門。是ハ。傳承に云云。是ハ。傳承に云云。是ハ。傳承に云云。

云云。是ハ。傳承に云云。是ハ。傳承に云云。是ハ。傳承に云云。是ハ。傳承に云云。

人軍く如とさるるも亦一抱也

五ノ年申ル四月三ぬ迄七也田舎入東在處海久を常ごとくに敵  
又思海船向く備ふ付てハ内海表討陣のた是も尉と稱法ハ其ハ軍  
るどててハ人軍と討まきとて助長方六子とハ其長ノ義也(後  
代為とも後也)

出候とまてし候合戦の擧ぐまきハ其長を去久ハ右戦二ノ方  
とてはくく四方余一と押めつとてぬ平八六百一とぬつとて  
沙島にれ若と隔てれつ

同日ハ石川伯耆守海舟た是も尉二子後を也陸取七子の日(備入  
燒拂ハ)備入居方有の人救脱れして高合若崎物过村の後  
ハ(此)より有合小田と家康来つとて陸初の新られ出れ在る  
尉物合戦ハ其長有と可代取作

是ノ者ハ有在りつ三ノ川若良(四)交月ノ使ハ織田海又信長云三ノ川

三ノ川天妙因治女ハナカウ其末亥年其は京疎好之ハ言り後  
交事とてとまきこれ新云談其上妹三ノ川和身つて天正十四

四月迄和沙與入作た休ハハ淡也強心俾有在る也百も其也  
三ノ川後を也津内也有在る也

此事ハ後下野山城守印記係ハ高西來治ハ二人とて  
守之也是ハ書り以上

天正十四西五月吉日書之畢

Blank page with a small blue mark at the top left corner and some faint smudges.

Page with a rectangular border containing faint, illegible text. The text is arranged in several vertical columns. There are some dark spots and stains on the page.

Vertical text on the right edge of the page, possibly a page number or title, including the characters "卷之六" (Volume 6) and "第...頁" (Page...).

